

日本規格協会グループは、1945年12月の設立以来、標準化と適合性評価の両面から、我が国のモノづくり、人づくりの基盤となる活動を展開。

一般財団法人
日本規格協会
(JSA)



日本規格協会
ソリューションズ株式会社
(JSA-SOL)



一般財団法人
日本要員認証協会
(JRCA)



1. 日本規格協会グループのアプローチ

- JIS法改正により、我が国のJIS体系にサービス標準が追加、我が国GDPの70%を占めるサービス業の競争力強化に向け、標準開発に取り組む。
 - ①東大寄付講座への前例のない支援による
ISO/TC312「サービスエクセレンス」の推進
 - ②ISO/TC324「シェアリングエコノミー」等、多くの国内審議に対応
 - ③サービス認証の実現に向けた取組みに関与
 - ④日本規格協会規格（JSAS）等によるサービス標準化の取組を推進。
- 本年6月の基本政策部会報告では「**日本型標準加速化モデル**」を提唱し、サービス標準化に関する検討が進行中。

2. サービス標準化への期待と論点

- サービス分野の標準化は、製品分野と比較し、事業の多様性から、規格化でも、適合性評価でも、挑戦が必要。一方、最近の例では、ISO7101「ヘルスケアマネジメント品質システム」の発行などに注目。
- **TC312「サービスエクセレンス」**は、我が国の**フラッグシップ事業**。
- 市場の声を聴きつつ、多様な標準スキーム（国際規格、JIS、JSA規格、業界団体規格等）を駆使し、ビジネスにインパクトを及ぼす標準化の実現を期待する。